

## SNW対話イン有明高専 2016 事後アンケート結果 (平成 28 年 1 月 21 日開催)

纏め：廣 陽二

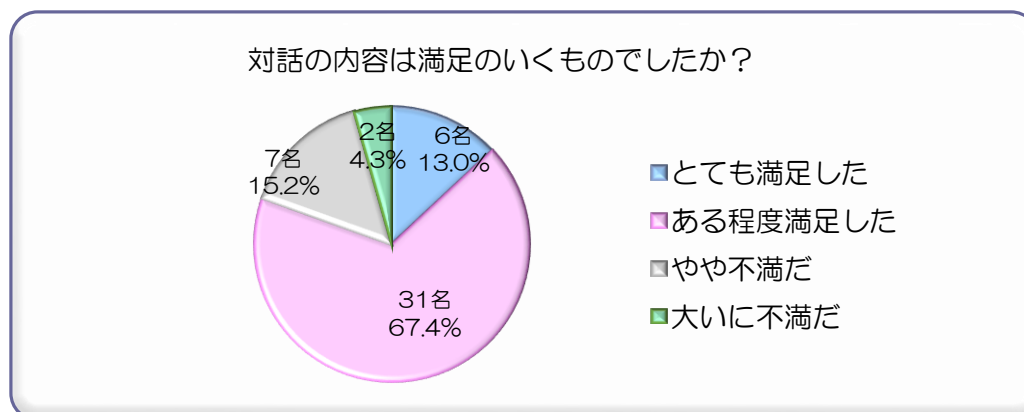
1. アンケート回答者 . . . . . 46 名（機械工学科 4 年 18 名、5 年 27 名、不明 1 名）

### 2. 対話会について

(1) 対話の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

とても満足した . . . . .	6 名 (13.0%)
ある程度満足した . . . . .	31 名 (67.4%)
やや不満だ . . . . .	7 名 (15.2%)
大いに不満だ . . . . .	2 名 (4.3%)

「とても満足した」と「ある程度満足した」の回答者は約 8 割であった、なお、「大いに不満だ」2 名の回答理由は無記入であった。



#### <理由>

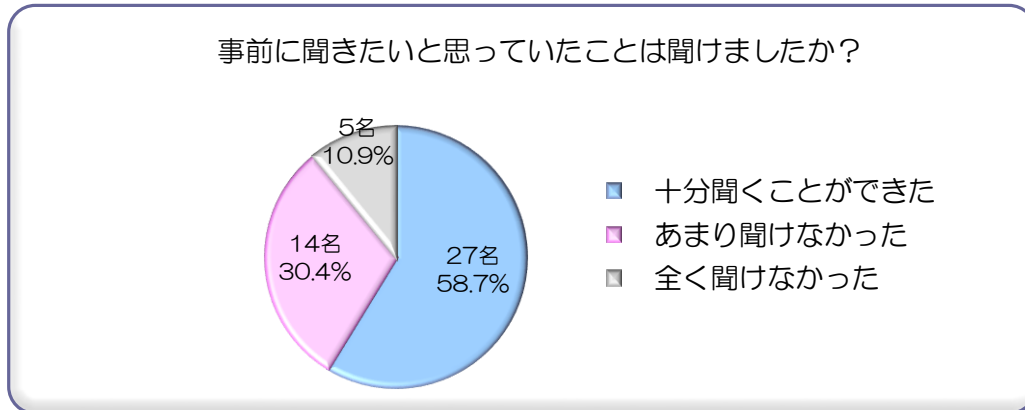
- ニュースやネットでは、あまり報道されないような事を知る事ができた。
  - ・ 自分の知りたい事が聞けたから。
  - ・ 普段、授業では学ぶことのできない原子力について深く学べたから。
  - ・ 今まであまり知らなかった原子力について理解が深まった。
  - ・ 今まで抱いていた原子力についての考えを一新できたから。
  - ・ 原子力、また原子力に関する機器など専攻している方に詳しい話を聞いた。
  - ・ 原発について詳しく知る事ができた。
  - ・ 原発の利点を知れたから。
  - ・ 第一線で活躍されていた方の話を聴けたのはいい。
  - ・ こんな機会めったにないから。ただ一つだけ不満があるとすれば、全員原発推進派だったことである。
  - ・ 新しい知識が身についた。

- 今まで全く学んだ事のない分野について学べたから。
- グループディスカッションが良かった。
  
- • あまり理解できなかった。
- そもそも興味がない。
- 原子力のいい所しか聞けなかった。
- あまり話をスムーズに運べず、内容も浅いものになったから。
- 自身の想像していた内容ではなかった。
- 一人が聞く耳を持たず一方的に話す。

## (2) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた . . . . . 27名 (58.7%)  
あまり聞けなかった . . . . . 14名 (30.4%)  
全く聞けなかった . . . . . 5名 (10.9%)

「十分聞くことができた」の回答者が約6割、「あまり聞けなかった」が約3割、「全く聞けなかった」の回答者が約1割であった。



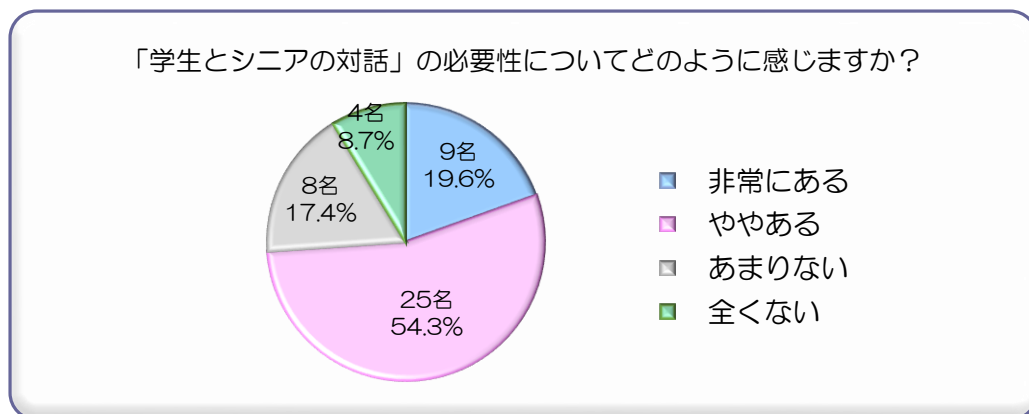
### (3) 今回の対話で得られたことは何ですか？

- ・ 会議の進め方
  - ・ 原子力のメリットとデメリット、廃棄物の問題など。
  - ・ 事故防止の対策を考え、実行できれば非常に有効な発電であること。
  - ・ 自分の考えが持てた。
  - ・ 特に福島事故について。
  - ・ 自分は否定派だったが、今回の話を聞いて自分の意見を見直すことができた。
  - ・ 対話の大切さ。
  - ・ 原発の現状を知ることができた。
  - ・ メディア・マスコミ等で聞く以外に聞いたこと。
  - ・ 原発の重要性、今後のあり方。
  - ・ 原子力の安全性について。
  - ・ シニアの方々との協調。
  - ・ 原子力推進派の意見というものが聞け、今後、自分が選挙に行く際の参考になった。
  - ・ 原子力の考え方が変わった。
  - ・ 原子力を再稼働させたいという気持ち。
  - ・ 放射線（放射能）についての知識。
  - ・ 放射線の基本。
  - ・ 国の安全基準がどの程度のものかがわかった。
  - ・ 原子力発電に関する誇張のない知識（メディアからの悪い面ばかり誇張したようなものでない知識、どちらかという利点について）。
  - ・ 原発に関する知識を深められた。

#### (4)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある	9名 (19.6%)
ややある	25名 (54.3%)
あまりない	8名 (17.4%)
全くない	4名 (8.7%)

「非常にある」と「ややある」で7割を超え、「あまりない」の回答が8名、「全くない」4名の回答理由は“みんな原子力を肯定しからないため”、“授業の時間をつぶしてまでやる必要はなかった”、残りの2名は無記入であった。



#### <理由>

- 学生で原子力について知識を持っている人が少ないと感じるから。
  - ・ 経験したことを話して下さるので分かりやすい。
  - ・ 講義では、講師が一方的に話すだけなので、話し手、聞き手が対話をしながら学ぶのも、社会に出てからの前準備として良いと感じた。
  - ・ 価値観がかなり違うので、新しい視点から見れる。
  - ・ 学生どうして考える場はあらかじめ用意していたほうが良いと思った。シニアとの対話は興味深い話を聞くことができたのでよかった。
  - ・ 様々なことを知っている、また経験豊富。
  - ・ 普段は経験できない大人との対話ができるから。
  - ・ いろいろな意見が聞ける。
  - ・ これまでを担っていた世代と、これからを背負う世代が話し合うのは、お互いに新鮮な意見が聞けて良いものだと思うから。
  - ・ 学ぶ機会がないと偏見を持ったままだったと思うから。
  - ・ マスコミ以外の視点も必要。
  - ・ 学校で聞けないことが聞けるから。
  - ・ 自ら原子力について深く考える機会がないから。
- みんな原子力を肯定しからないため。
  - ・ 興味ある人だけやれば良いと思う。
  - ・ 授業の時間をつぶしてまでやる必要はなかった。

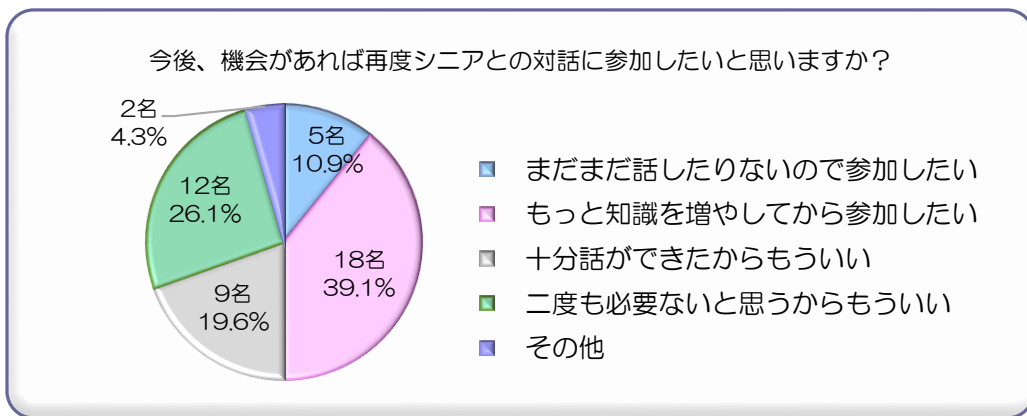
- 事前に知識を蓄えた上で興味を持ち臨むべきである。
- シニアより、現場で活躍されている方のほうがよいのでは！
- 必要性のある、なしよりも時期が悪い。
- 対話方式であったが、その形式が活かされておらず、また内容についても分かりにくく、専門的な知識のない人でも分かるような内容や説明にした方がよい。
- 知識の差がありすぎて、対話にならなかった。

(5) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

まだまだ話したりないので参加したい	5名 (10.9%)
もっと知識を増やしてから参加したい	18名 (39.1%)
十分話ができたらもういい	9名 (19.6%)
二度も必要ないと思うからもういい	12名 (26.1%)
その他	2名 (4.3%)

「もっと知識を増やしてから参加したい」との回答が一番多く約4割であった。

「その他」2名の回答理由は“機会があれば”、“もっと時間にゆとりがある時に参加したい”であった。

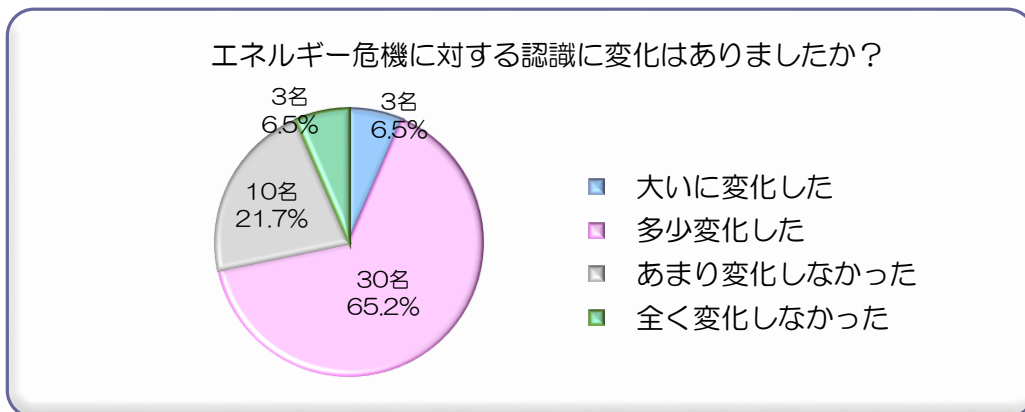


(6) エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した	3名 (6.5%)
多少变化した	30名 (65.2%)
あまり变化しなかった	10名 (21.7%)
全く变化しなかった	3名 (6.5%)

「大いに变化した」と「多少变化した」が約7割であった。

「全く变化しなかった」3名の回答理由は、「昔から知っていた」、「既知であった」、残りの1名は無記入であった。



<理由>

- 原子力は悪いというイメージがメディアによってつけられていたが、他のエネルギーに比べ原子力は安定的で環境に配慮されていることを知れたから。
  - 何十年かしたら石油はなくなってしまうから、他のエネルギーを探さないといけないことはわかった。
  - 他の発電方法と比べて原発の重要性を感じた。
  - 省エネしようと思った。
  - どのエネルギーにもデメリットがあることがわかった。
  - エネルギーにも様々な形があり、それぞれ使い方があったから。
  - それぞれのエネルギーに関しての（特徴など）知識を増やすことができ、視野が広がった。
  - 特に金銭面でやばい。
  - 今までのエネルギーがルーツとなった問題を聞き、その重大さに気付いた。
  - 自然エネルギーでは、難点もあることがわかったから。
- 基本的な話しかなかったため。
  - 今は石油が安く、当分、火力発電でまかなえそうだから。
  - デメリットが多いから。
  - このくらいでは、自分を含めた一般人は危機を覚えないと感じた。
  - よくわからなかった。
  - 既知であった。
  - 昔から知っていた。

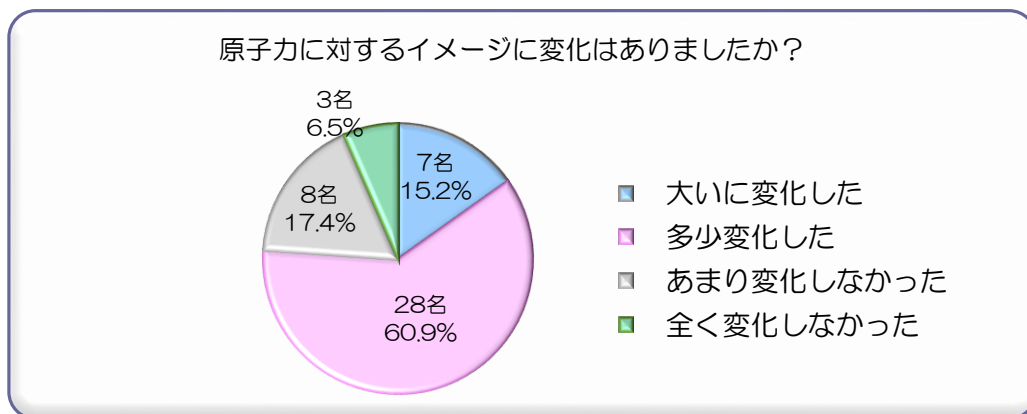


### (7) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した	7名 (15.2%)
多少变化した	28名 (60.9%)
あまり变化しなかった	8名 (17.4%)
全く变化しなかった	3名 (6.5%)

8割近くが「大いに变化した」又は「多少变化した」と回答している。

「全く变化しなかった」と回答した3名の回答理由は2名が“原子力についてある程度知っていた”、“既知であった”、残りの1名は無記入であった。



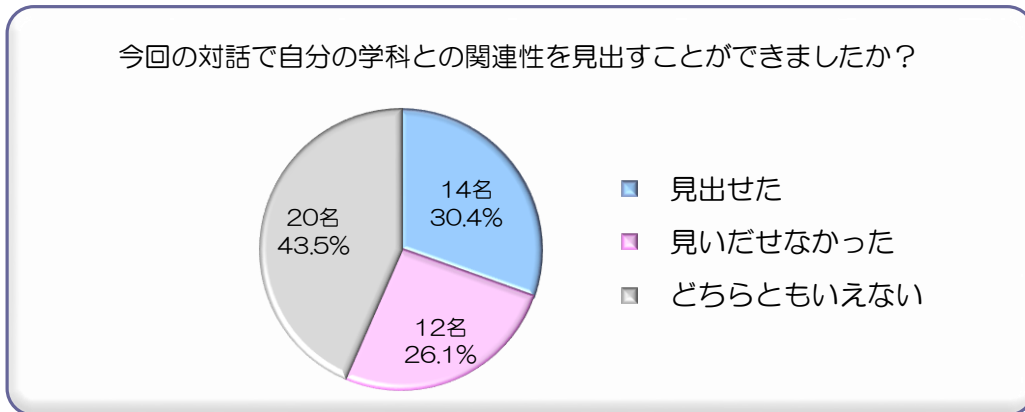
#### <理由>

- 事故により原子力は悪いようにされているが、エネルギーとしては他より優秀であるというのがわかったから。
  - ・ 原子力は危険なものだと思っていたけど、使い方を間違わなければ安全だとわかった。
  - ・ テレビなどの知識で否定していたが、自分が思っていたほど否定はできないと感じた。
  - ・ デメリットばかりではない。
  - ・ メディアによる情報と学会の方たちの情報では、得られる情報が異なっていたから。
  - ・ あれだけの推進派の人が集まったので、いいイメージになった。
  - ・ あることが危ないものと思っていたが、そうでもなかった。
  - ・ 原子力に対する悪いイメージが強すぎたかなと思った。
  - ・ どの程度、どのような危険があるのか、本当のことを聞けたと思うから。
  - ・ 少し安心できた。
- 知っている話が多かったため。
  - ・ 悪化した。
  - ・ 詳細を聞き出すことができなかった。
  - ・ 危険なモノ→良いところもあるが、やはり危険。
  - ・ 危険なことには変わらないから。

(8) 今回の対話で自分の学科との関連性を見出すことができましたか？その理由は？

見出せた	14名 (30.4%)
見いだせなかった	12名 (26.1%)
どちらともいえない	20名 (43.5%)

「見出せた」、「見いだせなかった」はそれぞれ約3割、「どちらともいえない」が約4割であった。



<理由>

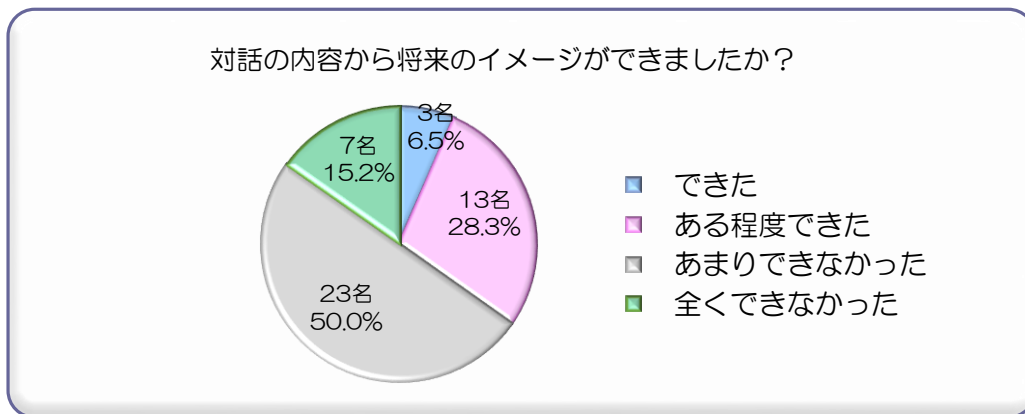
- 安全対策の面などで。
  - 電気関係なのでよくわからない部分が多かったが、環境問題は私たちにも関係しているのだからめになった。
  - 機械分野においても、エネルギー問題は無視できないから。
  - 授業で習ったところもあったので復習になった。
  - 原発に関する施設に機械が使われている時点で、機械工学は必須だと思うから。
- 専門的なことを学んだわけではないから。
  - 関連している内容が少なかった。
  - 知らないことが多すぎた。
  - そういう視点で対話をしていなかった。
  - 理解をしようとするので精一杯だった。
  - それと関連したようなテーマではなかった。
  - 原子力の授業を受けたことがないから。
  - 原子力のエネルギーについてしか話さなかったから。
  - 詳しい部分は分からないから。
  - 原子力と機械工学は関連しているのは知っているが、今回の対話ではよく分からなかった。

### (9) 対話の内容から将来のイメージができましたか？その理由は？

できた	3名 (6.5%)
ある程度できた	13名 (28.3%)
あまりできなかった	23名 (50.0%)
全くできなかった	7名 (15.2%)

「できた」、「ある程度できた」が3割を超えているが、「あまりできなかった」との回答が一番多く半数を占めている。

「全くできなかった」7名の回答理由は、“ためになる話が少なかったため”、“今の知識では、将来のイメージはできないから”、“現実感がわかかなかった”、“指揮する人が、思い出話と知識と持論をひけらかすだけで終わったから”、“自分との結びつきがないから”、“就職する企業と原子力は関連がない”、残りの1名は無記入であった。



#### <理由>

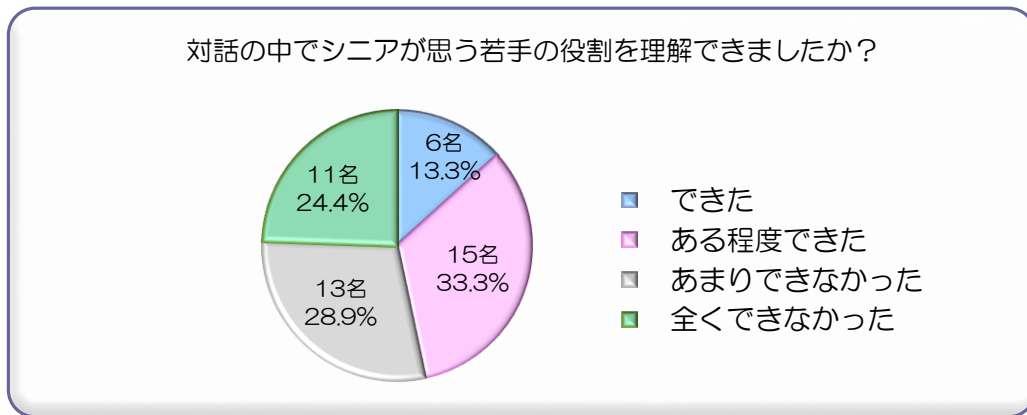
- 外国に燃料を依存している火力発電では危険である。
  - ・ 自分たちで将来について考えていこうと思った。
  - ・ 原子力や他のエネルギーの問題や課題が見えたから。
  - ・ 原子力が主力になりそう。
- 将来と直接関係のある話ではなかったから。
  - ・ ためになる話が少なかったため。
  - ・ 今の知識では、将来のイメージはできないから。
  - ・ 現実感がわかかなかった。
  - ・ 指揮する人が、思い出話と知識と持論をひけらかすだけで終わったから。
  - ・ まだまだ問題は山積みだから。
  - ・ 自分との結びつきがないから。
  - ・ 原子力について多少知識はついたが、将来、原子力を使うのか使わないのかまではわからなかったから。
  - ・ 就職する企業と原子力は関連がない。
  - ・ 話が長く難しかったから。
  - ・ 原子力に対する具体的な説明や、核心に迫った対談がなかったため。

- 原子力がまた増えていくのか……と感じたため。
- まだ知識が足りないから、はっきりとはイメージできない。
- 廃炉にするのに 30 年以上かかるということなので、費用が多くなり税金が増えるイメージがある。
- 将来につながる話がなかった。
- やはり原子力を全面的に推進する未来は考えられない。

(10) 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？またその理由は？

できた	6名 (13.3%)
ある程度できた	15名 (33.3%)
あまりできなかった	13名 (28.9%)
全くできなかった	11名 (24.4%)

全体的には、「できた」及び「ある程度できた」の回答者より、「あまりできなかった」及び「全くできなかった」の回答者が半数を上まわった。



<理由>

- 原子力を知り、正しい情報を伝えることが大切だと思うから。
  - ・ 国際性が大事。
  - ・ シニアのこれまでの経験から話を聞くのもいいが、若手はそれを打ち破るぐらいの自分の考えを持って新たな一手を出すべき。
  - ・ 技術は数日ですぐに発展するものではなく、今ある問題は自分たちが働く頃も考えなければいけないことだと思うから。
  - ・ 今後のエネルギー事情は、自分たちが考えていかなければならないと思った。
  - ・ 何も知らずに反対する人に伝えないといけない。
- 現状の話が主だったため。
  - ・ 難しかった。
  - ・ 自慢話ばかりしてくるから。
  - ・ 指揮する人が、思い出話と知識と持論をひけらかすだけで終わったから。
  - ・ 活発な意見を出せなかったから。
  - ・ 現状のみの把握で終わってしまった。
  - ・ そのような討論はしていない。
  - ・ 原子力の必要性はわかった。
  - ・ 結局、若手に何を求めているのかわからなかった。

(11)自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

<理由>

- ・ シニアの方々と自分の考えは大きく違うものだったが、シニアの方々の話を聞き、自分の知識を増やすことができ、考えも少し変わった。
  - ・ 原子力に対する考えは、シニアのみなさんの中でもそれぞれ違っていたので、まず、自分の考えを持つことが大切だと思った。
  - ・ リスクばかりを考えていて行動しないのは良くないということを教わった。
  - ・ 自分の考えを持ち、伝えることが大切だ。
  - ・ シニアの考えを聞くことで、若手がこれからを変えていかなければならないと思った。
  - ・ 原子力は安全じゃないと思ったけど、話を聞くうちに安全だと分かった。
  - ・ 生きていく上で必ず関わることになるエネルギーについて、自分がその道の仕事に就かなくても自分の意見くらいは持っておこうと思った。
  
- ・ 物の見方が違った。
  - ・ 難しかった。
  - ・ よくわからなかった。
  - ・ 若手の役割はよく伝わらず、考え方も変わらなかった。
  - ・ この回答を書くにはスペースが足りない。
  - ・ 違った。福島原発事故は国が悪いという。また、同じような事故を防ぐのも国の役割だとシニアは言う。ただ、私は技術者にも責任があると思う。
  - ・ あまり対話はできずに終わってしまったため違いはない。自分の考えが変化はしたが、自分で考えようとせず話に流されてしまった。
  - ・ シニアの先生方はそれぞれ今までの職業を通して原発が必要だということはとてもよく理解できた。だが、原子力自体は安全だと言われたが、実際に地震・津波の影響で事故が発生し、近隣の住民が避難したということは大きな被害であると思う。原子力発電はもちろん必要だと思うが、頼り切らずに他の手も考えることが重要ではないかと思った。

(12) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

<理由>

- ・ 原子力について知識が深まった、ありがとうございました。
  - ・ 原発の知識については学ぶところが多かった。
  - ・ 原子力のことについて詳しくなれたと思う。
  - ・ とてもためになる企画だと思うので、次はもっと時間にゆとりをもってやってみたい。
  
- ・ 今後、必要ないと思う。
  - ・ 全く魅力を感じなかった。
  - ・ 前もって準備する時間が必要だったと思う。
  - ・ 反対派の意見も聞いてみたいと思った。あれだと推進派の意見を押しつけている感覚になる。その上で自分も考えを持ちたいと思った。
  - ・ 準備期間をもう少し早めにとって欲しかった。
  - ・ 私的には知っていることの討論であったため、得られるものは無かった。
  - ・ 原子力の良さを一方的に説明されただけの会になったような気がする。被爆者の気持ちを考えるべき。
  - ・ 対話の中で、学生が考えてきた質問に対して「さっきの講和で話した」との答えしか返ってこなかった。
  - ・ 時期を考えてして欲しい。卒研発表前の授業時間と放課後をつぶしてまでする価値があったのかを吟味して欲しい。
  - ・ まるで「原子爆弾によって原発の安全性が証明された」みたいな爆弾発言は控えられたい。